

2 目標達成計画

事業所名 グループホームほほえみの家

作成日：平成 22年 2月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	36	プライバシーを侵害している行為として、①利用者がいるいないに関わらず部屋のドアを全開にしている②車椅子の後ろのポケットに尿取りパットを入れたままにしている③トイレに入った後に尿取りパットを取りに行く行為の3点があげられた	職員間で話し合い問題点を明確にし改善に向けて取り組む	まずはこのような行為の何が問題なのかを職員会議で話し合い、問題点を明確にする。また具体的な対策として①部屋の扉は必ず閉める。見守りが必要な場合は少しだけ扉を開けておく。②③車椅子のポケットには尿取りパットを入れず、トイレにパットを用意できるスペースを確保する。	3 か月
2	25	利用者との日々の関わりの中で得た情報は、申し送りや記録、職員会議を通じて伝達するようにしているが、その他にもたくさんの情報を得ていても職員個々に留めていることも多く、さらに職員間での情報共有を深めていく手段を確立したい	職員間で新たな情報共有の仕組みを確立する	職員が利用者対応で気付いた事を書き込むシートを作成し、些細な情報でも書き込んでもらう。その情報をもとに職員会議で情報共有を図り、利用者の状態像を把握する。	12 か月
3	24	入所する前に生活歴や生活環境等のバックグラウンドを把握できるよう家族やご本人から聞き取りをしているが、記憶があいまいな点も多く詳細な情報を得られないことがある。また家族にも情報収集する目的がうまく伝わっていないことも原因として考えられる	情報収集の必要性を理解してもらう。より詳細な情報が職員間で共有できるようになる	現在利用している様式にセンター方式を追加して家族に記入をお願いする。身元引受人になる家族が分からない情報については、親戚や兄弟に聞いてもらい記入してもらう。家族には情報収集する目的を口頭で伝える他、資料なども活用して分かりやすくしていきたい	12 か月
4					か月
5					か月